

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第61号 発行日2009年1月25日

Contents

2009年のJN協会行事予定	1
霞が関情報(河東哲夫氏)	2
観光人国記(弘前市長、翠明荘)	3
立教支部便り、スタンドグラス	4
円高と観光、世界遺産物語	5
2009年スタート、ご挨拶	6
2009年スタート、ご挨拶	7
城下町と観光、NEWSPOT	8
観光への提言、COLUMN	9
お得な情報(美味しい話、道の駅)	10
NPOからの提案、イタリア通信	11
お天気の話(一番寒い日)	12



桜の名所として知られる青森県弘前市の「弘前公園」(弘前城)。4月末から5月初めにかけての「さくらまつり」には、全国から観光客が押し寄せる。幹回りが日本一太いツメヨシノ、シダレ桜など名木がたっぶり。1810年に再建した天守閣は徳川幕府に遠慮して三層にしたといわれている。後方の山は、残雪が残る岩木山。津軽富士の別名でも親しまれる。

巻頭言

3月に「観光立国フォーラムin名古屋」
総会は5月プレスセンターで開き、
本保・観光庁長官の講演を予定
11月には、北海道で5回目のフォーラムも

JAPAN NOW観光情報協会(松尾理事長)は、「都市再生・観光振興・環境保全」を目的に活動を始めてから8年となるが、平成21年の活動計画が昨年12月の企画委員会で決定した。

アメリカの金融危機に端を発した不況を克服するため3月9日、名古屋市の名古屋商工会議所ホールにおいて「大中部圏の観光・経済発展策」(観光立国フォーラムin名古屋)を開き、広域観光の振興、リニア中央新幹線の東京・名古屋間の実用化、中部空港の第二滑走路の建設について3人の専門家が提言する。

定例理事会は3月17日、海事センターで開き、定時総会に提出する議案を協議する。総会の日時も決まり、5月26日に東京のプレスセンターで開催し、平成21年度事業計画や予算案を審議する。このあと本保観光庁長官が観光立国について、JR東海の須

田相談役がリニア中央新幹線の東京・名古屋間の実用化について講演する。このほか6月ごろ横浜開港150周年を記念したイベント、11月には札幌で第5回観光立国フォーラムin札幌を開くなど積極的に活動を展開する。(JN協会事務局長 白澤照雄)

カラオケ事業者協会が41万円寄付 自動車事故被害者援護財団に対して

東京・品川区にある全国カラオケ事業者協会(会長・梶喜代三郎氏)が、昨年11月、「社会貢献のためにご活用下さい」と自動車事故被害者援護財団(会長・松尾道彦氏)に41万円を寄付した。

梶会長と松尾会長(JN協会理事長)らが出席して寄付金及び感謝状贈呈式を行い、カラオケ事業者協会の高潔な志しに感謝の意を表し、事故被害者の援護活動に反映させることになった。

2009年が始まりました。世界不況、円高と、波乱含みの年となりそうです。

発足9年目を迎えるJN協会も、こうした状況の中でも観光立国推進のお手伝いに、全力を挙げます。

理事長以下、各支部長が今年にかける決意を語っています(6、7面)。

東京 霞が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

観光立国を支える人たち

中央アジア観光の魅力を語る

元ウズベキスタン大使 河東哲夫氏
聞き手 JN協会理事・阿部和義



- ウズベキスタン大使を2年やられました。中央アジアの観光について現状をお聞きします。

中央アジアはウズベキスタンのほか、カザフスタン、トルクメニスタン、タジキスタン、キルギスの5カ国があります。私はウズベキスタンとタジキスタンの大使をかねていました。その中でウズベキスタンが日本にとって親しみがあります。観光資源はシルクロードの起点ということでもわかるように豊富にあります。飛行機はシルクロードの真上を通っています。晴れている時は面白いですよ。ウズベキスタン、タジキスタンはペルシャ文明の中心です。しかし、観光に対する政府の組織やインフラが十分ではありませんね。

- 中央アジアの観光の魅力は何でしょうか？

長い歴史の中で現代に引き継がれていることを調べないと面白さはわかりません。例えばサマルカンドの遺跡は泥の中にあります。石作りで日干し煉瓦を積み上げただけでできています。ペルシャの統一は中国の秦の統一より早いのです。ここにはトルコ人やモンゴル人が入ってきていろいろな文明ができたのです。サマルカンドは「青の都」と言われています。イスラム教のモスク（礼拝所）やミナレット（塔）、マサドラ（高等教育施設）などがいたるところで見られます。中国（『元』）に破壊された後も残っています。サマルカンドだけでなくブハラ、ヒワ、シャフリサブスなどにはティムール王国の時代にできたモスクなどが見られます。

- 日本との関係はどのようになっていますか？

大使館の調べによると観光客は年間4千人でビジネス客は2千人ということです。観光資源があるのにもったいないです。その原因は日本との航空機の便が少ないことやホテルの施設が良くないと言うことがあります。こうした中で日本の円借款でサマルカンド、ブハラ、ヒワにあるウルゲンチの3空港を近代化しました。国際線が入るようになり観光促進にはなりました。ホテルも西欧の資本がサマルカンドなどに生まれましたが、シェラトンやメリリアンなどは撤退しました。冬は寒くて観光客が来ないということです。

- インフラ（観光の基盤整備）が十分ではないということですね。

交通網を見ても観光バスは首都のタシケントとサマルカンドとのルートは2つあるが、一つのルートはカザフスタンを通れないので迂回するので1時間も余分に掛かる。ホテルの食堂は昼しか開かずに、観光客のためには不便です。

さらに日本のツアー客を募集するための母体が無い。こちらのエージェン트가日本と約束ができないことも多いのです。こうしたことを徐々に改善してゆくしかないでしょうね。

河東哲夫（かわとう・あきお）氏のプロフィール
東京都生まれ。1970年東京大学教養学部卒。外務省に入省。西ドイツ、スウェーデンなどに勤務の後、ボストン総領事、ロシア公使など歴任。02年ウズベキスタン大使。04年9月辞任。早稲田大学大学院客員教授。60歳。

JR東海の葛西会長が「リニア駅各県に一つ」

JR東海の葛西敬之会長は08年12月26日に日本記者クラブで講演した。その中で葛西会長は「仮に東京から名古屋までの4県に停車しても1時間で到着は可能である」と発言した。

2025年に開業を目指しているリニア新幹線について自民党は途中の神奈川、山梨、長野、岐阜の各県に停車するように働きかけている。そうした自民党の声に対して葛西会長は理解を示した。東京 名古屋を最短で40分で結べるが4駅作っても一時間で行くことができることをしめした。

新幹線の総事業費は3539億円 21年度予算 観光は63億円を計上

国土交通省は昨年12月、平成21年度予算の政府案を発表したが、このうち東北、北陸など整備新幹線の総事業費は地元負担も含めて3539億円となった。

線区別配分は北海道新幹線の新青森・新函館間は337億円、東北新幹線の八戸・新青森間は350億円、北陸新幹線の長野・金沢間は1193億円、九州新幹線の博多・新八代間（鹿児島ルート）は1600億円などとなった。

また、昨年10月新設された観光庁関係の予算は20年度とほぼ同額の63億円が計上された。国際競争力の高い魅力ある観光地の形成、観光産業の国際競争力の強化及び人材の育成のほか、22年度までに訪日外国人数を1000万人とする目標を確実に達成するため訪日旅行者の満足度を高めてリピーター化を促進し、ポスト2010年を見据えた国際観光振興の更なる発展のため「ビジット・ジャパン・アップグレード・プロジェクト」を行う。

観・光・人・国・記

「攻め」の観光振興目指す

新幹線の青森延伸と弘前城築城400年と

相馬 籠一(そうま・しょういち)弘前市長



1936年生まれ、弘前市役所勤務を経て66年税理士開業。78年、弘前市議会議員に当選、2期務めたのち86年、青森県議会議員当選。県議生活6期ののち、2006年合併で誕生した新「弘前市」の初代市長に就任。前弘前市長を破っての当選だった。

相馬市長は、市長選挙に当たって「農業を柱に、“攻めの観光振興”で弘前市を活性化する」と公約したという。自給率が全国平均の3倍にもなる農業をさらに充実することはもちろん重要だが、ご当地には全国的に有名な弘前城の桜、岩木山、ねぶたまつりなど観光資源は豊富。だが市長は「黙って観光客を待っていても大きな伸びは期待できない。『待ち』ではなく、『攻め』の姿勢が必要なのです」と言い、次々と手を打っている。

具体的には、スポーツ大会や学会、各種団体の全国大会などの誘致に向けて、市長は先頭に立っている。桜のシーズンやねぶたには、県外の客で溢れるが、その合間を埋めるのが狙いだ。そして「大会に参加した人たちに、桜やねぶたのビデオや写真を見てもらい、今度は家族やグループで来て下さい」と呼びかけるのである。もう一つ、市長が打ち出したのが弘前市全体を“都市公園化”する構想。昨年、市内にある伝統的な22の建物を『趣のある建物』に指定して、マップを作成した。「弘前城ばかりでなく、市の有形文化財にも匹敵する由緒ある建築物を見て回っていただく。北の小京都と呼ばれるこの街の落ち着いた佇まいに、歩かれた皆さんは癒されると言われます。街全体が博物館のようだ、という方もいます」と相馬市長。さらに調査を進め、指定数を増やしたいそうだ。

そして、今市長が最も力を入れているのが、2010年末に新青森まで伸びてくる東北新幹線の活用。弘前、津軽を中心として、十和田湖、世界遺産の白神山地を含めた広域観光を展開する。「昨年『弘前感交劇場』推進委員会を発足させ、たとえば、岩木山の8合目から日本海に沈む夕日を見るツアーとか白神山地を活用した催し、津軽三味線の演奏を楽しんでもらうような大会など、街や郊外といった津軽地域を一つの劇場に見立ててのツアーを充実させたいのです」、「県外のお客との交流で生まれる、人々の感動。それが“感交”と私が名付けた観光振興なのです」と市長。さらに2011年には弘前城築城400年を迎える。年間通じて途切れなく続く催事を計画、

なかでも特別なつながりがある近衛家や細川家所蔵の逸品を借りてきて大展示会を開くなど、市長が先頭に立ち準備を進めている。

この二つのテーマは、目下の最重要課題だが、そのあとこそが大切という。「桜だけでなく、日本一のリンゴ産地である弘前市の特性を生かし一面の白い花を愛でる5月の祭りや、農業体験のようなグリーンツーリズムを取り入れるなど、ありのままの生活文化を上手に活用し、有機的に結びつけ、幅広い弘前観光を定着させたいと考えています」と相馬市長は語った。(加納)

“女将日記”でお客と交流する

『趣のある建物』を活かす料亭

総檜、書院造り、銅板葺きの屋根弘前市の『趣のある建物』に指定されている翠明荘(すいめいそう)は、かつて銀行頭取の別邸だった。この弘前切っただの高級料亭の女将は丹代(たんだい)奈津子さん(写真)。



OLから転身した丹代さんが凄いの、毎日のように“女将日記”をホームページに書き込んでいることだろう。「おいで下さったお客様との間での感動的な会話、出来事はじめ、弘前の身近な話題などを、暇を見つけては書き込みます。インターネットで、それを見て来てくださる遠方の方も結構おられます。県外客が三割くらいというのは、その効果かも知れません」と奈津子女将。

日記を読みたい方は、ホームページ

(<http://www.suimeiso.co.jp/>)をどうぞ。

料理は奥膳懐石(おうぜんかいせき)が売り物で、地元食材を使って京懐石風に仕上げた薄味の上品な味。ほたて貝焼味噌とかシャモロックなどの郷土料理も楽しめる。夜は1万円弱から2万円超まで、昼は4千円の奥膳弁当、3千円のランチなど数種類(サービス料、消費税は別)あるので、女性群に人気がある。金箔を散りばめた格天井や富山の名工による欄間や扉の彫刻、七文字塗りの建具などを鑑賞しながら、こうした料理を楽しむのも一興だろう。京都の桂離宮枯山水の流れを汲む庭も一見の価値がある。

活動的な奈津子女将は、さらに弘前市の「郷土検定」試験に挑戦、初級の資格を取ったので、さらに中級を目指している。津軽藩時代からの郷土史や旧跡のガイドができる資格だが、女将業が忙しいので目下は来店したお客との会話や、女将日記での紹介に留めているようだ。

さらに、いま始めているのが「料理マナー教室」である。洋食のマナーを教えるところは多いが、和食の席での食事マナーについて改めて学べる場所は、地方都市では珍しいのではあるまいか。「最近の若い人は、家庭でもあまり教えてもらっていないようで、興味を持ってくれる人も結構いるのです」とか。

『奥膳懐石 翠明荘』(電話0172-321-8281)

036-8355 弘前市元寺町69



The report of Rikkyo activities.

日中韓手作り夕食会

Nuggets Of Hospitality

立教支部長 麓理沙

7月のベトナム人留学生との夕食会に続き、昨年11月18日、日中韓3団体による夕食会が開かれました。このイベントは立教大学国際センター主催によるものですが、あくまで主体となって取り仕切るのは私たち学生です。中国人留学生会、韓国人留学生会、そして私たちのサークルがそれぞれメニューの考案、調理、もてなし等すべてを行います。



今回それぞれが作る料理は、中国人留学生会が水餃子と麻婆豆腐、韓国人留学生会がチヂミとトッポギ、私たち日本人組が白玉アイスとなりました。

さっそく集まった皆で水餃子作りです。中国では餃子は家庭料理ということで、さすがは中国人留学生、慣れた手つきで次々と形の整った餃子を作っていきます。餡の包み方も丁寧に教えてくれて、我々も慣れない手つきで不格好ながらもなんとか完成させます。また韓国ではマンドゥという餃子に似た伝統料理があり、彼らも中国式水餃子にはなじみがあるようです。

その横では韓国人留学生会がトッポギをつくっています。また次々とチヂミも焼き上がり、アツアツ



出来たての料理に舌つつみをうちつつ話も弾みます。今回の夕食会のために本場の調味料をそろえて、かなり本格的なものを作ってくれたので

す。このようにふだん私たちがなかなか口にすることができないような味を楽しめるのも、この夕食会の醍醐味と言えるでしょう。

最後は日本の代表デザートとして白玉アイスで締めくくりました。このデザートは前回も含めベトナム、中国、韓国と全留学生から好評をいただくことができました！

今回の夕食会も食を通じて互いに交流ができたのではないかと思います。また自分たちの文化を見つめなおす良いきっかけともなりました。

街から村から

銀座に新名所誕生

夜空に浮かぶ？ステンドグラス

銀座2丁目マロニエ通りにユニークな形をしたデピラス銀座ビルがある。銀座通りから、夜このビルを目指して歩くと、夜空に浮かぶ下の写真のような絵柄を見ることになる。実は、これはビル上階に開店した料理店『花郷』の天井を飾るステンドグラスが、反射する形でビルの外に映るのだという。

ステンドグラスを製作したのは、さいたま市に本拠を構える『ステンドグラスパロック』の主宰・臼井定一さん。



10階にある『花郷』のエレベーターを降りると巨大な孔雀をあしらった壁画（ステンドグラス）が迎えてくれる。そして見上げると天井一面のステンドグラス。さらに、11階にある個室群の入口では、“花



魁”が出迎えてくれる（左の写真）。

臼井さんは、著名なステンドグラス作家。JN協会の個人会員でもある。九州新幹線の久留米駅はじめ数か所の駅を、氏の作品が彩っているという。東京では、芝・増上寺の会館正面を飾る日本画のステンドグラスが、氏の作品である。

この道35年という臼井氏が、渾身の力を注いで製作した、このデピラスビル内のステンドグラス。超一流といわれる『花郷』の料理を味わうと同時に、これらのステンドグラスを鑑賞し、“眼福”に預かってはいかが！（写真では本物のような、きれいな色が出ません。ごめんなさい臼井さん）

屋久島の雪

屋久島の「やくしま市場」から、JN協会の松尾理事長あてにメールが舞い込んだ。大要は「屋久島の船行地区には、あられが降り、路面脇が薄らと白くなり、前岳も雪化粧していて今シーズン一番の冷え込みでした。白谷雲水峡・もののけの森付近で50センチの積雪。西部林道などでは、連日サルたちが群れになり寄り添い寒さを凌いでいます。」と。

屋久島は、南の島で雪など降らないと思われがちだが、寒波がくると、だいたい標高600mから上は雪が積もるそうだ。縄文杉ルートも雪道となり、寒波が続くと縄文杉あたりでも数十センチ積もるとか。

世界不況と円高が観光業界を直撃？ 訪日者、海外渡航者ともに落ち込む模様

昨年夏のプライムローン破綻によって起きた世界不況に、円の独歩高がダブルパンチとなって、日本の観光業界に大きな影響が出始めている。「2010年に訪日者（インバウンド）1000万人」の政府目標が達成できるかどうか、危険信号が灯った感がある。

日本政府観光局（JNTO）の調べによると、2008年1月～11月に日本を訪れた外国人は784万人、前年が835万人なので通年では横ばいか微減になりそう。8月以降は前年比でマイナス基調になっており、11月に至っては、前年に比べ19.3%も落ち込んだ。

なかでも地方都市の状況が厳しいようで、各地から伝わるニュースは、悲鳴一色。「11月の観光動向調査だと、海外から鹿児島県に入り込んだ客は前年同月比30.6%減」とか「アジアからの客で潤っていた北陸も、チャーター便の延期が出る始末」など。

とくに、円に比べウォンが昨年比に半分の水準となっている韓国からの客が極端に減っている。

「蔵王温泉スキー場は、前年比5割以上減」という有様だ。ここ数年、日本各地のゴルフ場、スキー場で遊ぶ韓国人が急増し、各施設とも対応を進めていただけに、その落差の大きさにショックを受けているのが現状。

「観光を振興することが、地域起こしに繋がる」として、ここ数年来、行政・民間が一体となり様々な手を打ってきているだけに、首長はじめ観光関係者、地域経済団体トップの顔色は青ざめている。

日本人の海外渡航も減っている

一方、海外へ出かける日本人の数も減る傾向。テレビの報道では「円高、ウォン安で、韓国を訪れる女性が急増している」と、ソウルのデパートなどに殺到する姿を映し出しているが、それはごく一部。2008年1月～11月の海外渡航者は、各月とも前年比割れというのが実情。総数は1470万人で、2007年の1730万人と比較すると、2008年が前年比マイナスとなることは避けられそうにない。

2020年目標に赤信号？

観光立国の実現を目指して昨年発足した観光庁は「2020年のインバウンド2000万人」という目標を打ち上げているが、はたしてどうか？麻生総理は「日本経済は全治3年」と言っている。

日本経済の先導役だった自動車業界が、あのトヨタをはじめ大幅減産で赤字転落という重症。裾野が広く雇用力が大きい自動車業界が、この有様では先が思いやられる。「衣食足りて礼節を知る」風になれば「衣食足りなければ、観光に出かける気にもなれない」というのが、国民の今の気持ちではないだろうか。ワラならぬ、オバマ・米新大統領景気に縋りたいところではあるが・・・。（加納）

「世界遺産」物語.....

マヤ文明のチチェン・イツァ

近藤 節夫

メキシコのユカタン半島の森の中には、いくつかのマヤ文明の神秘的な遺跡が残されている。その中で、最もミステリアスで天文学的な興味をそそるのが、このチチェン・イツァのカステージョ（スペイン語で城砦の意）である。

この石積みのピラミッドは、その壮大な形状にも圧倒されるが、何と云っても摩訶不思議で興味を惹くのは、91段の正面階段の西側の手すりに彫刻された、マヤの最高神ククルカン（蛇）が「春分の日」と「秋分の日」の日没時間になると真西から照らされる太陽光線によって、蛇の胴体だけがその影絵となって浮かび上がることである。地元の人ならいざ知らず、その一刻を狙ってその一瞬を見ることのできる外国人観光客は、よほどの粘り強い根気と幸運に恵まれなければ難しい。

「羽毛のある蛇の姿をした神・マヤの最高神ククルカン」が、太陽が沈むにつれてこの最上段の神殿から地上に降ってくる神々しい姿にははっと息を呑む。残念ながら、この瞬間に立ち会うことはできなかったが、ビル8階に該当する高さからククルカンが舞い降りる神秘的なシーンをテレビで観た時言い知れぬショックを受けた。9～13世紀の昔、天文学から緻密に計算されたカラクリによって、幻想的な神の出現を現代に演出した当時の天文学者の知恵にはただ感嘆するばかりである。

このピラミッドは55m四方の基底の上に、高さ24mで91段の階段を各四方に配置して全部で364段になっており、最上段には真四角の神殿が乗っかり、この一段を加えて365段の階段となっている。一年を365日とした「暦のピラミッド」の由来である。



91段の神殿階段を降る筆者
（中央下、白い帽子）

さらに驚くのは、近くのジャングルの中にマヤ人が作った天文台が崩れかかって残されている。この天文台で長い時間をかけて、マヤ人たちは天文を研究し農耕や戦争に役立たせていた。因みにこの当時使用したマヤ暦は、1年が365.2420日だったというから、現代のカレンダーの365.2422日とはごく僅かの誤差しかない。天体鏡のない時代に、マヤ人はこんな密林の中で空を見上げながら、何を想い泉のように未来永劫の普遍の知恵を産み出したのだろうか。

2009年がスタートしました。遅ればせながら、謹賀新年！

丑年の平成21年を迎えて

JN協会理事長 松尾道彦



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年从去年末からこの新年にかけて、まことに快晴続きの天候に恵まれた2009年の幕開けでありました。

本年は、今上天皇陛下が御即位されて20年を迎えられ、日本国民にとって大変喜ばしいことです。丑年の年男の一人として感慨深いものがあります。

昨年は、政治、経済、社会情勢全般にわたって、まことに不安定で心に不満、不信を抱くことが多々ありました。日本人の美德とされてきた「相手を思いやる心」が減少し、自我の心が芽吹き、どことなく虚しいムードが横行したように思われます。

厳しい経済危機の中で迎えた本年こそ、明日に向けて活力を引きおこす日本人の底力を、過去にも発揮してきたように、心明かるく、強く、前向きに行動し、人と人との出会いを深め、温かい交流の輪を広げてゆきたいものと願っています。

会員の皆様一人一人にとって、本年が仕合せの一年となりますよう、心より祈念したいと思います。

五年雑感 のんびりした記憶は無い

副理事長 大島 慎子（筑波学院大学教授）

私は丑年である。記憶に残っている48年前は、オリンピックを控え、自宅近くの青山通りの拡張工事で高度成長の街の活力を感じた。36年前の1973年、私は勤務していたアメリカの航空会社の乗務でベトナム戦争終結の撤兵のためにサイゴンに飛行し、アメリカのすべての航空会社のジャンボ機が空港に待機しているのをみた。この年に転職したルフトハンザドイツ航空では、前年のミュンヘンオリンピックのテロ事件の後遺症で、空港は厳戒態勢であった。

航空会社は国情に左右されるという実感が私に根付いている。24年前は、ドイツが観光立国宣言で、美しい国ドイツ、ロマンチック街道とプロモーションを展開し、広報担当者の私は日本からの集客に奔走していた。

12年前の1997年、私は世界初の航空連合スターアライアンスの結成式でフランクフルト空港に行き、ユナイテッドやルフトハンザなどの創生メンバー5社のジャンボ機が、上空を編隊飛行のデモフライトを行うのを眺めていた。

今年の丑年はどんな体験ができるのだろうか。

「観光2年」を迎えて

副理事長・中部支部長 須田 朋

新年おめでとうございます。

昨年は「観光庁」発足等もあり「観光元年」といわれました。それからみると、今年は「観光2年」ということになり、いよいよ国の新しい観光政策が本格的にかつ強力で動き出すことが期待されます。

これを受けて「観光2年」は官民一体となった日本の「新しい観光」を推進する年にしたいと思いません。

今年は各地の観光資源を今一度見直しこれまでとはちがった角度から（産業、街道、都市などのテーマ別に）その魅力を引き出す努力をすること、新しい視点にたった観光行動を盛んにすること（ヘルスツーリズム、エコツーリズム等）、それらをエリア的にまとめた新しい観光圏を各地につくりあげること等が必要です。

そして「観光」をひろく市民運動にまで高める必要があります。このような挙国一致の観光のよびかけ人としてJAPAN NOWと共に私共も努力していきたいと考えております。皆々様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

--年頭雑感--

副理事長 横山 善太（株）JALUX特別顧問

未曾有（みぞう）の時代転換のうねりの中、年が往き新しい年となりました。

来し方を省（かえり）みると、今の時代を落ち着いて考える時期だと思っています。

25年程前、西独ハンブルグに駐在していた頃に、当時の東ベルリンを訪れた時のことです。百貨店に行ってみると結構な賑わいで、商品も上等なものではないが品揃いもありました。電化製品の売り場では、出回りはじめたカラーTVは、飾り気のないデザインのものだけですが、羨望の人集（だか）り、そして時計売り場では、クラシックで重厚な置時計が陳列されていましたが、全て修理品でありました。

私は社会主義に与（くみ）する考えは全く有りませんが、この状況を、西側の華やかな商品経済市場に埋没している者が素朴にみると心が洗われる気持ちになるのです。

それらから間もなく、東ベルリンは亡くなりました。そして今思い返す時、この時歴史はどう動いたのでしょうか。壁の崩壊は民主主義の自由を求めた人々の思いの成果であって、市場経済のグローバル化を狙ったものでは無かったです。

年頭に当り、来し方を省みると、“見えざる手”の市場機能は道徳観のある秩序の下にあってこそ社会の発展に貢献するのだと思うのですが。

...という年頭雑感。

私たちの“ご挨拶”です。今年もご支援を、お願いします！

人間の本性をコントロールする年

JN協会顧問（前理事長） 丹羽 晟



明けましておめでとうございます。
今年は大変厳しい年になると言われています。私達は今、人間の本性である欲望から来る飽くなき利益追求の結果生じた、百年に一度と言われる全世界的な経済危機に直面しています。資本主義による自由競争市場体制の敗退です。

人間の本性から来る大問題と言え、20年近く前に起きたソ連邦崩壊とそれに伴う全世界的な共産主義体制の敗退もそうでありましょう。こちらの方は、共産主義による全体主義体制の下で、人間の怠惰から生じる官僚化した国民の怠慢と不作為による非効率が主原因と言われていています。人間の本性であるEASY GOING、楽して安きに付くことの現われでありましょう。

今年、当面の危機打開の緊急対策を実施する一方で、上記両極となる人間の本性を如何にうまくコントロールする社会体制を作り上げて行くかが、私達国民の責務であると考えています。

「坂の上の雲」など、四国に注目が！

四国支部長 梅原 利之（JR四国相談役）

昨年の世界金融不況から端を発し、その影響が日本経済を直撃、暗いニュースばかりの年明けとなりました。その日本に今求められている重要課題の1つが、本格的な内需振興策の実施ですが、その切り札が観光交流の拡大であります。観光は消費のすそ野が広く、かつ老若男女の雇用創出が期待され、疲弊していると言われる地域の活性化に大きな効果があります。

時あたかも、今年から来年にかけて四国は全国的にかなり注目度が高まると考えています。まず、今年の秋からNHKスペシャル大河ドラマ「坂の上の雲」が松山市を主舞台として、3年間放映されます。また9月からNHK連続テレビ小説「ウェルかめ」が、海がめの産卵で有名な徳島県美波町と徳島市で開催されますし、また来年のNHK大河ドラマは「龍馬伝」です。その上、香川県では美しい備讃瀬戸に浮かぶ7つの島と高松市を舞台に「瀬戸内国際芸術祭」が夏から秋にかけて開催されます。

また私達は、四国4県とJR四国とで実施してきた「四国観光立県推進協議会」を発展的に解散し、なお強固でかつ「立県」でなく「オール四国」の組織をつくるべく、目下鋭意準備中です。観光はこれからの日本にとって夢のある産業です。大いに頑張りたいと思っています。

地域資源を活かした観光振興を！

中国支部長 大田 哲哉（広島電鉄社長）



中国支部において2008年は、地域資源を活用した観光振興を実現すべく、各団体が連携し、その第一歩を踏み出した年であったと思います。11月には中国地方の行政と経済界のトップが一堂に会し、「中国地域発展推進会議」が設立され、広域観光振興に係る連携方策について意見交換が行われました。また広島湾域の自治体、商議所が連携し、漁業・農業・産業の集積を活かした体験型修学旅行の誘致活動を行ったり、「広島顔」ともいべき路面電車を活用した滞在型観光の研究事業の取り組みが実施されました。

幸いにも、「広島・宮島・岩国地域観光圏」及び「中海・宍道湖・大山観光圏」の二地域が観光圏整備事業に認定されたことにより、今後、地元関係機関が一層の連携を図りながら、新設の観光庁と一体となって、地域資源を有効活用した観光振興プロジェクトが実現するものと期待しております。

新しい年を迎え、サブプライムショック以降の景気減退と円高により、外国人観光客が減少するなど、向かい風の強い状況になっておりますが、「牛の歩みも千里」の言葉どおり、こういう時期だからこそ、力強く一步一步前に進んでゆくことが必要と考えております。

4月から「兵庫キャンペーン」始まる

神戸支部長 岩田 弘三（神戸商議所）

この4月から兵庫県において、JRの「ディステーションキャンペーン」とタイアップして大型観光交流キャンペーン「あなたに会いたい兵庫がいます。」が実施されます。経済環境は円高、大不況と大変な状況にありますが、兵庫にとって、この取り組みは大きな追い風になると思います。

また神戸市では、予ねてから「デザイン都市・神戸」をテーマに神戸のまちづくりを取り組むなか、昨年ユネスコの創造都市ネットワークへの加盟を認証されました。そして、旧居留地と、そのウォーターフロントにあたる波止場町1番地から第四突堤までを海に親しめるゾーンに変え、人が集う場所づくりへ向けた計画も進められています。

100年に一度といわれる厳しい経済環境下において、この難局を危機感を持って乗り切っていくことで、観光振興の礎となる体質を強化し、日本国内だけでなく欧米諸国と合せて、東アジア、ロシアを中心とした近隣の国々からも、“訪れ”“住み”“働きたい”と思ってもらえる神戸となることを期待しています。

城下町と観光

宮城県仙台

独眼竜伊達政宗が築城

七夕祭りには彩り豊かな飾り

JN協会参与 長宗我部 友親

仙台城は仙台市青葉区にあり、「青葉城」、あるいは「五楼城」ともいわれる。



独眼竜で知られる伊達政宗が造営に着手し、伊達氏の270年間にわたる居城となった。伊達政宗は永禄10

年（1567年）に、米沢城主の伊達輝宗の第一氏として生まれている。母は最上義盛の息女で、輝宗の正室であった。



伊達家は奥州の豪族で、豊かな米作地帯にあって、生糸、絹織物などの産品もあり鎌倉時代から勢力を広げていた。

政宗は幼名を梵天丸と称していて聡明であったといわれる。あるとき不動明王を見て、「仏は柔和なものといわれているのに、この不動明王はどうしてこんなに怖い顔をしている」と尋ねたという。これに、僧は「外見は剛だが、内面に慈悲の心を持っておられるのが不動明王です」と答えたが、かならずこの子は将来大きく育つ、と感心したという逸話が残っている。

伊達政宗が築いた仙台城は本丸と西の丸からできた堅固な城である。天主台はあるが、天守閣は持っていない。

堅固に築かれた城ではあったが、江戸時代に入って世の中が落ち着いてくると、山上への往復が不便となり、2代藩主の忠宗は、寛永時代に二の丸を造り、政務は主としてそこでとるようになった。

青葉山には、伊達氏以前から城があり、鎌倉時代末から室町時代中期にかけては島津氏が居城としていたこともある。

仙台には、伊達政宗の時代から続いている伝統的な町をあげての行事がある。七夕祭りである。この祭りでは和紙で作られた彩り豊かな飾りが、街のメインストリートとなる中央通りなどに展開される。祭りの期間中には、全国から2百万人もの人が集まる。

NEW SPOT

in japan

飛行船遊覧

現存する世界最大の飛行船ツェッペリンNT号が日本で遊覧クルーズを始め1年経った。数カ月ごと期間を区切っての不定期運行だが、東京、横浜、湘南、埼玉、京都、大阪、奈良などの空を巡っている。NT号はドイツで始動し、日本、アメリカを加え世界で3機が就航中だ。

機体の全長は75.1mでジャンボジェット機より5mほど長く、胴回りは約2倍。従来の飛行船と異なり内部に骨組みがあり、その骨格は軽くて丈夫なカーボンファイバーで、外装はワイシャツの襟ほどの厚さの合成繊維だ。重量約8トン。不燃性のヘリウムガスで浮揚し、飛行時は重量300キロほどに軽くなる。胴体中央に張り付く長さ約10mのゴンドラに操縦士2人、客



飛行船ツェッペリンNTから東京湾方向を望む

室乗務員1人と、平均80キロの乗客8人まで。搭乗前に体重の申告が必要だ。

首都圏の飛行は埼玉県桶川の荒川河川敷にある駐機場から発着。大宮 池袋 浅草 - 汐留 六本木 新宿などと回ると90分で1人約15万円。他のコースも30分5万円ほどの勘定だ。ゴンドラのタラップから搭乗後、機体左右の小型プロペラが回って浮揚し上空約300~600mで水平に。時速65~80キロ（最速125キロ程度）で推進する。航空機と違って非常に静かな低空飛行で、地上の鉄道や自動車の動きもよく見え、夜間は光のジュウタンの上を飛ぶ気分だ。有視界飛行のため荒天など視野不良の時は飛ばない。今後の運行はHPで。

(写真・文 林 莊祐)

「観光立国と私の提言」

円高で海外からの客は微減か？

JTB広報室の三ツ橋明子氏に聞く
JN会員 加藤 和子

今年の旅行動向について、JTBの三ツ橋明子氏（写真）に、お聞きした。不況の深まるなか、旅行気分になれない人が多そうだがJTBの調査では国内旅行は1.1%減と小幅な減少に留まる予想だ。



一方、円高やサーチャージの低下にもかかわらず景気悪化の影響を敏感に反映するビジネス需要の落ち込みで海外旅行は4.4%の減少を見込む。

今年は春と秋にそれぞれ「5連休」があり、旅行には行きやすい曜日の並びだ。JTBはガソリン価格の急落もあって、ドライブ旅行が増えるという見通しを描いているそうだ。実際、高速道路の交通量に、その兆しは見えているという。若者の車離れが言われており、昨年後半の自動車販売台数の急激な落ち込みをみると、車人気の回復には首を傾げたくなるが、大幅なETCの割引の導入などで家族旅行なら鉄道旅行より車の方が安上がりだ。

三ツ橋さんによると、移動しながら次々と名所旧跡を巡るという従来の旅行のイメージとは異なって「1か所にじっくりと滞在する旅行が増えている」という。

長崎の「さるく」や別府での「オンパク」といった地域的な観光振興活動が効果を上げ、他の地域でも、そうした活動に影響を受けたまち興しが活発に

なっていることも、滞在型の旅行が増える背景にあるという。

海外旅行については1月から燃油サーチャージが引き下げられる一方で、4月に国際線の運賃が値上げされる見通しになっている。ただツアー代金に、運賃値上げが反映されるのは半年後であるし、景気にとってはマイナスの急激な円高も海外旅行には追い風だと三ツ橋氏。通貨ウォンが1年前の半分近くに値下がりした韓国などへの個人旅行客は急増しているという。

一方、円高の影響で、このところ増え続けていた訪日外国人数は今年、0.6%と小幅ながらマイナスに転じるとみられている。ただ、国別の入国者でもっとも多かった韓国からの旅行者は減少しているが、ユーロの下落にもかかわらずフランスなど旅行者が減少していない国もあるという。「興味がある人は、為替レートに関係なくやっぱり来る」と三ツ橋氏は言う。団体旅行だけでなく家族旅行も可能になるなど規制緩和が進んでいる中国からの旅行者も堅調だそうだ。

三ツ橋氏は、「グリーンツーリズム、ヘルスツーリズムといった目的性が強く、人や自然とのふれあいなど体験的要素を取り入れた新しいタイプの旅行は経済動向とは関係なく増えるだろう」とみている。世界的な不況だが、こういうときは開き直って、長い休暇を取って家族と一緒に新しい体験を試みてはどうか、それが内需の拡大にもつながると語った。

C O L U M N

ビルマ(ミャンマー)という国

昨年5月大型サイクロンに襲われ、死者、行方不明者7万人、罹災者は実に150万人とも言われ、世界中の同情を誘ったビルマも今ではまったく世界の動きの蚊帳の外にある。ビルマの正式名称（英語訳）は、「ミャンマー連邦」で、かつて「ビルマ連邦社会主義共和国」と長たらしい名で呼ばれていたのに比べて、随分あっさりしたものになった。

ところが、この国の政治構造は複雑で国際的な常識や社会通念からみても、極めて異質で軍部が独裁的に統治して、その強権的な手法が多く、苦難や不幸を国民に押しつけている。国際人道機関などから再三警告を受けているのはすでに周知の事実である。現軍事体制がいつまで続くのか予測はできないが、日本とは大東亜戦争を通してつながりの深い国でありながら、近年は正しいニュースが伝えられず、残念なことに今日この国は世界の人々から乖離され酷く誤解されてしまっている。多少なりともその誤解を紐解くエピソードを紹介することによって、本当のビルマの良さを分って欲しいというのが、ビルマの隅々まで歩き、政府高官からシャン族の長老とも交流を持ったひとりのビルキチ（「ビルマ気狂い」の意、古山高麗雄、会田雄次もそのひとり）としての願いである。

ビルマ人の人間的特性を二つほど紹介しよう。そのひとつは、ビルマ人が信仰心に篤く、底抜けに人が好いことである。いつもニコニコして人懐こく誠実、控え目で友情に篤く礼儀正しいことである。家族仲良く、隣人とも親しく宥和を図る。だから、お互いが助け合い家族の絆や友情はいつまでも切れることがない。戦時中日本兵との間に子をなした女性が、戦後もずっとその兵士を慕って待ち続け、生涯独身を通す健気さには頭が下がる。

もうひとつは、耐えて我慢強いことである。あのサイクロン時の悲惨な状況下で、軍政府役人のごまかし、援助物資隠匿、横流しのような悪徳にも関わらず、ひたすら黙って耐え続ける崇高な人間性は、「人格」というものの意味を改めて問い直したくなるほどである。だから、今でも激しいデモや暴動が彼らの自発的な意思から起きたとはとても信じられない。この類稀な高潔な国民性が反って悪名高い軍政のをさばらせている原因かも知れない。

ともあれ、ビルマで悪いのはほんの一握りの軍の為政者だけであって、国民の99%は善人で、一度訪れたらビルマに嵌り、あなたもビルキチになることは間違いない。（近藤）

お得な情報

「日本で見つけた 世界おいしい物語」

レストラン&ワインバー ロゼッタ

恵比寿駅の西口から徒歩10分ほど。アメリカ橋の近くの住宅街にひっそりとある隠れ家的なレストラン。友人の家に招かれたようなリラックスした雰囲気演出する日本人のシェフによるイタリア料理である。オーナーシェフの桜井善隆氏は、盛岡の有名料亭で育ち、子供の頃から食を追及しフランス料理を学んだそうである。

席数26という小さなレストランで、インテリアや食器は和の雰囲気をふんだんに使った異空間である。地下にはバーカウンターが4席、またソファコーナーもある。

2009年の1 - 2月のコースメニューには、小鉢やガラスの器に盛られた特選オードブル、神戸牛のにぎりずし2かん、サーディンとシチリア産カラスミのパスタ、手長海老と真鱈の白子のあぶり焼き、和牛フィレ肉のコートレッタとデザートドルチェで6,000円というお手頃である。イタリアンが基本でもジャンルにとらわれずに食材を活かした独創的なこだわり料理ともいえる。アラカルトには、魚河岸直送の魚のカルパッチョという、一見魚の活造り風なものが3,800円、活三陸ホタテ貝とカラスミのペペロンチーニスパゲッティが、1,800円、神戸牛の炭火焼4,200円などバリエーションに富む。その他記念日コースなど限定2組の特別メニューなどが、8,000円で楽しめる。

ワインを頼んで平均的には1万円ほどで食事が楽しめる。

休みが不定期なので、必ず電話予約を入れることが望ましい。住所は渋谷区恵比寿1-21-20 EN恵比寿ビル1F。電話は03-5721-6277で、17:30からラストオーダーの22:00まで、夜のみ営業。(大島慎子)

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいていた「JAPAN NOW」誌は、日英全文対訳で学校教材としてもますます高く評価されています。

4月に完成した2008-2009年度版は、日本全国のホテル110館、55,000室の客室に常備されています。

日本文化の再発見を通じて新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって生き生きと伝えること伝えることが、「JAPAN NOW」誌の編集方針です。2008-2009年度版は150年間にわたり日本の国際交流の窓口であり続けた横浜の過去と現在を紹介する「横浜150年」といまでも日常の生活とともにある神仏の世界を通じて日本人のこころ

のあり方にせまる「素顔の神々」という2つの特集を軸に構成されています。また、巻頭インタビューは、文学者の河野多恵子氏をはじめとしたバラエティあふれるラインアップとなりました。

1部2000円(送料別)で購入できます。お問い合わせは(株)ジャパン・ナウへ。電話・FAX 03-3536-1751



道の駅「新潟ふるさと村」

毎月行われている当協会のセミナー。毎回40名を越える参加者で会場はいっぱいである。昨年12月のセミナーは「新潟市の観光施策」。観光交流課の田村課長が講師として話をされた。首都圏で行ったアンケートで新潟市のイメージは8割が「雪国」と答え、新潟県と混同している結果がでたそうです。

新潟市が掲げる市のイメージは、「食と花とみなとまち」。確かに新潟市には雪が殆どない。それだけ新潟は広いのである。

筆者である私も仕事の関係で新潟市に住んだことがあり、美味しい米、魚、酒を楽しんだが、「雪国」のイメージは十日町など他の地域なんだと思った記憶がある。

いま新潟市は、NHKの大河ドラマ「天地人」のふるさととしてイベントも多彩で盛り上がっている。

そんな新潟市西区にある道の駅「新潟ふるさとむら」は6.4haの広大な敷地にあり、新潟県の観光地や味覚を幅広く紹介している。500人も入る大型レストラン(10時半~3時)では、へぎそば、郷土御膳、こしひかりラーメンなど地元の味が堪能できる。



物産館(9時半~5時半)では、日本海の幸、コシヒカリ、103蔵元の地酒、笹団子など地元の品が取り揃えられている。

降雪体験コーナーでは霧状にした水を凍らせ、自然に近い雪を降らせ、いつでも雪国を体験できる。

酒試飲コーナーでは、蔵出し直送、県内全蔵元の銘柄がそろい、日本酒セラーも完備している。

話題の「天地人」直江兼続展も5月10日まで開催。上越市生まれの兼続の人物像と生涯を分かりやすく解説している。

また、食の祭典2009~「新潟・食の陣 当日座」を2月7・8日に開催。村上牛サーロインステーキ1,600円。柳カレー天丼500円など冬の味覚がたっぷり楽しめる。

道の駅は、北陸自動車道新潟西ICから国道8号を長岡方面へ5分。電話:025-230-3030 (堤 りり)

[会員募集]

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)
東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階
JAPANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)へご連絡ください。

会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して!!

観光情報紙2009年3月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400~500文字程度)。皆様のご意見を、とどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2009年3月25日。締め切りは3月15日。

NPOから提案します

自己資本で作った東海道新幹線

高崎経済大学観光政策学科教授 寺前 秀一

リニア中央新幹線が検討されている最大の理由は五全総でも課題とされた更新投資がきっかけであるとされる。開業45年目の東海道新幹線でも将来的に大規模なメンテナンスが必要となるからである。加えて我が国の大動脈を二重系化することができ、副次的に東海地震対策等が期待できる。人口増加時代の在来線の輸送力逼迫から構想された東海道新幹線とここが異なるのである。

東海道新幹線計画の際には、狭軌併設線増案が相当強かったものの、税金の投入までは発想しなかった。公共事業に毒されてしまったマスコミは「自己負担でリニア建設を決めた理由」を問いただし、東海道新幹線どころか山陽新幹線にも税金は投入されていないことをすっかり忘れてしまっている。狭軌併設線増案によれば、線路が汎用性を持つと同時に完成した部分から逐次活用できるはずであったが、市街地化した地域の用地買収が困難すぎた。広軌別線案は膨大な財政的・人的資源を集中投下する賭けと見られ、官僚的決断にはなじまなかったが、それを突破したのは十河総裁、島技師長のリーダーシップであった。東海道線の線増であるとの位置づけで

鉄道敷設法改正を回避し、慎重に行政手続きを進めた。2人の晴れ姿は開業式典にはなかったと葛西敬之氏は著書の中で紹介する。

マスコミは「葛西が引退した後、計画を白紙に戻せばいい」といった議論すらあると報道(「選択」2008年11月)するが、歴史が繰り返すには早すぎる報道でもある。

政府は2008年8月末にまとめた総合経済対策の中に「超電導リニアによる次世代高速鉄道実現に向けての本格調査着手」の文言を盛り込んだが、景気対策的発想では危ういはずであり、もっと積極的な位置づけが必要である。角本良平は東海道新幹線の場合予想以上の経済成長、コンピュータ技術の進展等の幸運にも恵まれたとし、橋山禮治郎は見通しが甘く猪突猛進(2008年12月25日朝日新聞OPINION)とするが、東海道新幹線と異なり羽田・関西間には航空利用者というリニアの潜在的需要者が存在し、羽田・関西間に割り当てられている航空機の発着枠の多路線への振替という社会的効果も期待できる。

リニア投資にも、平成の十河総裁、島技師長の登場が期待されるのである。

イタリア通信 その7 - 高速鉄道スタート

「高速鉄道」ミラノ - ボローニャ間スタート 空の便との競争意識あらわなイタリア国鉄

2008年12月13日、イタリア国鉄は高速鉄道「アルタ・ヴェロチタ」のミラノ - ボローニャ間の運転をスタートさせた。

これにより、『赤い矢(フレッチャロッサ)』と呼ばれる新列車でミラノ - ボローニャ間(182キロ)を65分、ミラノ - ローマ間(516キロ)を



ノン・ストップ3時間半で結ぶ。ミラノ - ボローニャ間の高速鉄道建設には99ヶ月の年月と投資総額69億ユーロ額が費やされた。新列車「フレッチャロッサ」は完全イタリア製で時速300キロ。

同日、ミラノ中央駅も3年以上の年月と総額1億2000万ユーロの費用をかけた修復工事の基幹部分が終了し、新しい駅に全面リニューアル。今回の工事では1930年代に建設された歴史的な駅も近代的で広々とした切符売り場や16台のスロープ式動く歩道が新設されるなど機能性が格段とアップし記念すべき一日となった。

さらに現在工事中のボローニャ - フィレンツェ間の高速鉄道工事が2009年12月中に完成すると、ミラノ中央駅 - ローマ中央駅間は3時間となる。そのあかつきには、ミラノ・ロゴレート駅 - ローマ・ティブルティーナ駅間2時間45分ノンストップ便の運行も始まる。これまでの4時間半と比べると夢のような話だ。

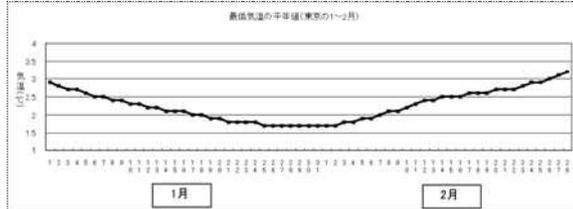
また、2009年12月には残る行程の工事も完了し、合わせて北のトリノから南イタリアのサレルノまで全長1000キロ近い全区間を高速鉄道で結ぶこととなる。「古い、遅い」というイタリア国鉄のイメージを刷新する「まさにイタリアの交通革命」とイタリア国鉄は自画自賛。試験運行では時速355キロを問題なくだしているという。

ところでイタリア国鉄の真のねらいはミラノ - ローマ間の「ドル箱路線」で飛行機に勝つこと。おりしも、「イタリアの翼」アリタリアが莫大な赤字を残して経営破綻し、新会社CAIへの経営委譲が決まる中、「空の便」の遅れや欠便が続き、嫌気をさした市民の「飛行機離れ」が進行中だ。この機会に国鉄は一気呵成にシェアをのばすべく、競争意識をあらわにしている。さて、軍配はどちらに？

一年で一番寒い時期

冬だからとあらかじめいますが、毎日寒さが続き、冬の気圧配置が強まると、それに季節風が加わり、寒さがいっそう増します。一年で一番寒い時期はいつなのでしょう。それは各都市ともに小寒（今年は1月5日）を過ぎて立春（今年は2月4日）までの間が気温が一番低くなります。

図は東京を例にした日最低気温の平年の値の経過です。お正月の頃は3度くらいあった気温は日々低下し、大寒（今年は1月20日）から立春までが2度以下になります。この気温では吐く息も白くなります。日最低気温は、通常日の出直前に出現することが多く、日



の出の遅いこの時期は、通勤時間帯に最低気温が出現することもあり、白い息は吐きながら急ぎ足で通勤するサラリーマンの姿を見かけます。

ところで、東京で気象観測をしてからもっとも気温が下がったのは1876年の1月13日の氷点下9度2分。水道管も凍る気温です。

さて、今年は「丑」年です。牛に関する天気のことわざがあります。「牛が夜まで鳴くと雨」や「牛がまるくなって寝ていると天気が悪くなる」などです。丑年だけに「モウ～、異常気象は嫌だ」。失礼致しました。

日本気象協会 金野 雅之

会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公開していません)

名誉顧問	松山善三(映画監督)
理事長	松尾道彦(日本海事センター会長、前日本鉄道建設公団総裁)
顧問	丹羽晟(前理事長、日本空港ビルデング顧問)
副理事長	白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(株)JALUX特別顧問、大島慎子(筑波学院大学教授)、小竹直隆(元JT専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)、丸山博(元国土交通審議官)
支部長	片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、麓理沙(立教)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、坂本真一(北海道)、梅原利之(四国)、丸森仲吾(東北)、大田哲哉(中国)

【団体会員】(2009年01月25日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、(株)アドルックス、荒井建設(株)、アソテス電気(株)、安藤建設(株)、イーエムティー(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、(株)HKエアクス、(株)エイブルシステムズ、NPO「江戸城再建を目指す会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚ハルレジ、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)キャンドウ、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマサハバ「サジャ」パブリシティ、三協立山アルミ(株)、(株)三普旅行社、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)センターナショナル、常磐興産ビル(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、パーキングプロ(株)、セントラルリビングシステム(株)、(株)タイエコンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、ティートレーディング(株)東京支店、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トヨカネツソリューション(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタンツ、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、(財)日本ホテル教育センター、(株)キューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビックウイング、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)パロック「サジャ」パブリシティ、(株)フィールドサービス、(株)フェイリックホールディングス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、フナネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルリックス、マイナホテルディングス(株)、(株)まるまんフィオーレ、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

JAPAN NOW

観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：白澤照雄(JN協会事務局長)

編集長：加納 隆(JN協会理事)

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、

地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

新しい年が明けたが、どうも元気がない。アメリカの金融危機に端を発した不況の嵐は日本、欧州など世界中で吹き荒れ、これまで優等生だった日本の自動車産業もトヨタの赤字転落に象徴されるように非正規従業員の大量解雇といった事態に直面し、電機、鉄鋼、不動産、百貨店など産業界全般にも不況の波が押し寄せている。

マスコミは連日「1930年代の世界恐慌に匹敵する未曾有の不況」と報道している。しかし、それほど深刻だろうか。私たちの日常生活を見ると、スーパーの食品売り場は人で溢れ、新幹線や自動車、飛行機による市民の移動やビジネスは活気に満ちている。不況克服にはやはり観光を振興させ、職を失った人を観光業界で救済したり、自給率の低い日本農業の向上のため若い労働力を農業に注入し、環境ビジネス分野での雇用促進など、またとないチャンスでないか。(白澤)